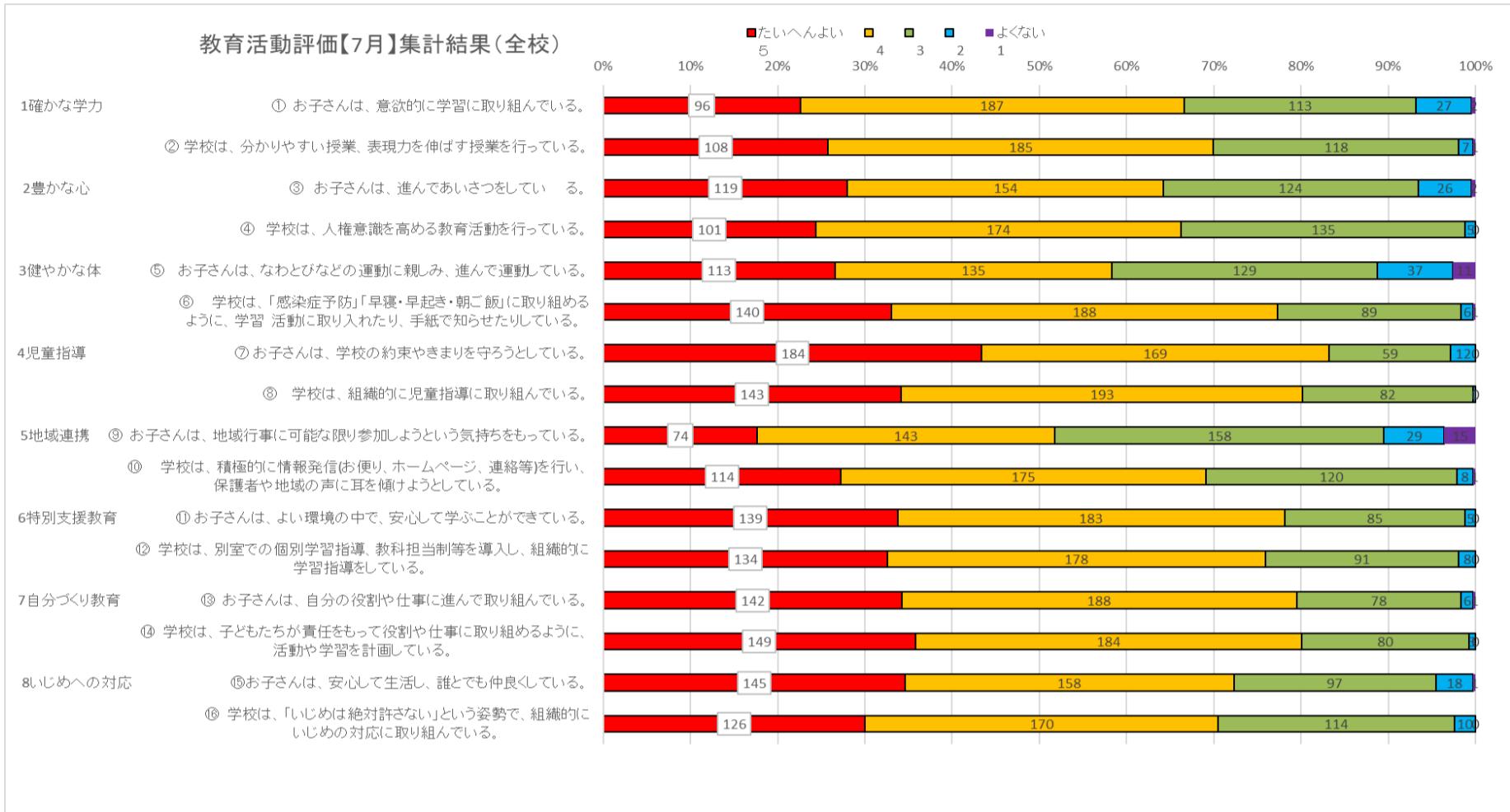


教育活動評価（7月） 集計結果報告について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、7月にご協力いただきました「教育活動評価」の集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。本校はPDCAサイクルで教育活動を展開し、責任ある評価、責任ある実行を柱としております。このたびの教育活動評価につきましても、私たち教職員による自己評価、子どもたちからの評価と併せて分析、検討しました。今後の教育活動に生かしていけるよう、話し合いを重ね、【今後の取組について】としてまとめました。その結果も掲載してあります。

子どもたちの学力や体力の向上に積極的に取り組む学校を目指して邁進していきます。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



【今後の取組について】

○確かな学力等（①②⑬⑭）について

学習への取組については、「たいへんよい」と「よい」をあわせての評価を7割近くの方からいただきました。また、同じ項目について、子ども自身はより高い自己評価をしていました。引き続き、子どもが自分の言葉で説明したり、話したりする機会を増やし、自信をもって表現する積み重ねを低学年から取り組むなど、分かりやすい授業、表現力を伸ばす授業を目指して努力をしてまいります。また、コロナ禍が続く状況において、しばらく授業参観が実施できていないため、保護者の皆様から学校での様子が分からないとのご指摘もいただきました。後期には、感染状況を考慮しながら、参観日を複数設定し、密にならない状況での授業参観を実施する方向で検討しています。

アンケートからは、子どもと教師で「意欲的」と考える姿に差があることが分かりました。授業に対しての前向きさのみならず、継続した取組や主体的な取組の具体的な姿を子どもに示すことで、自身の目標を高め、さらなる学力の定着を図っていきたくと考えています。

○豊かな心等（③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑮⑯）について

教育活動が制限される中で、大きな声でのあいさつや積極的に体を動かすことが難しい場面がありましたが、できる場面で取り組んできた活動について、おおむね「たいへんよい」「よい」の評価をいただきました。今後もあいさつについては、登下校時に校門付近での教師によるあいさつ活動や児童会活動等における継続的な「あいさつ運動」を行い、よりよい人間関係づくり、いじめの起きにくい風土づくりにつなげていきます。また、お世話になる地域や保護者の皆様にもきちんとあいさつができるよう、指導を繰り返していきます。

前期は校庭での外遊びなどに制限があり、運動に十分取り組めませんでした。後期は「体力向上1校1実践運動」として「なわとび運動」の推進を行い、体育学習はもとよりなわとび運動に親しみ、継続的に進んで体を動かす子どもを育てていきます。そして、コロナ禍だからこそ、保護者と連携し、いっそう自らの健康に関心をもち、引き続き「感染症予防」「規則正しい生活習慣」「早寝・早起き・朝ご飯」に継続的に取り組めるよう指導していきます。

さらに、後期も「いじめは絶対に許さない」という姿勢で教職員が常にアンテナを高くして、組織的な対応を心がけていきます。11月の人権週間には、いじめの未然防止に向け、いじめの起きにくい学級風土づくりや仲間づくりを全校で進め、自己有用感や自尊感情を高められるようにしていきます。合わせて、GIGA端末（iPad）の活用を進めると同時に、ご家庭と一緒に子どもたちに「情報モラル」を育み、ネットトラブル等を未然に防ぐことができるようにしていきます。